

# 一般質問



一般質問は、9月28日、29日および30日の3日間、19人の議員によって行われました。

質問は、子育てや災害対策に関するものをはじめ、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。

(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載) ※用語解説(下段)



## 市民の意識啓発を図り人と動物が共生できるまちづくりを

自民・新政 風間 正子

### 一 子育て支援策について

問 平成27年7月から専門職による母子健康手帳の個別交付を行っているが、成果はどのようか。

答 顔の見える関係を築くことで、電話相談や出産前教室などへの参加に結び付けている。さらに10月からは妊産婦の時期などに合わせた情報のメール配信サービスを開始するなど支援の充実を図りたい。

### 意見

充実した子育て支援をしていくためには、小児医療費助成制度の対象者を拡大し、その一方で不要な受診を控えるなど、医療費抑制のための啓発をすべきである。

### 二 三世帯同居や近居への支援について

問 国が推進している三世帯同居等支援事業を、本市の地方版総合戦略や総合計画後期基本計画に位置付けることで、大きな効果が見られるか。

答 自治会連合会とよく相談し、取り組みが増えるよう努めたい。猫の適切な飼育に関する意識啓発を行うべきと思うがどうか。

### 三 人と動物の共生について

問 上地区の湯の沢団地では、野良猫を増やさない地域活動をしている。市ではこの活動を広めていくべきと思うがどうか。

答 総合戦略の策定作業に着手しており、今後の協議の中で住宅取得への支援など本市にとって効果的な支援策を検討していきたい。



野良猫を増やさない活動を広めよ



## 自然災害から市民を守り安心・安全なまちづくりを

自民・新政 高橋 照雄

### 一 土砂災害防止と集中豪雨に対応できる河川整備等の計画について

問 土砂災害警戒区域を示したハザードマップを、全世帯に配布したが、今後の取り組みはどのようか。

答 土砂災害危険区域は、多くの自治会が該当しており、危険な区域を理解してもらおうための説明会を実施していきたい。また、各自治会が一時避難場所などを定めた避難マニュアルを作成する際に、支援をしていきたい。

### 二 市税の増収策について

問 ふるさと納税は、努力するほど成果が表れる事業であるが、今後の見通しはどのようか。

答 地元のキャンプ場などで利用できる感謝券を返礼品に加えることで、本市を訪れる人が増え、経済効果を期待している。今後も、寄附金の確保とあわせ、商業・農業・観光などの振興に結び付くよう取り組んでいきたい。



大根川の河川整備の状況は



## 元気高齢者の社会参加と小・中学校の運動場整備を

緑水クラブ 高橋 文雄

### 一 生きがいのある高齢者社会について

問 超高齢社会を迎えたが、高齢者の多くは元気がある。現役世代を手伝う意味からも、元気な高齢者の社会参加の場を創出する必要があると考えるがどうか。

答 健康長寿社会を築くため、社会の担い手として長年培った知識・経験・技能を生かし、多くの高齢者が社会の一員として生き生きと働き、活動することが重要である。自らの生きがいを見いだすことにもつながり、介護予防の観点からも重要である。介護予防などへの支援活動・地域活動に参加できる環境づくりを行っていく。

### 二 小・中学校の運動場整備について

問 学校の運動場は、地域の行事などにも利用されているが、排水が機能せず、水たまりができてやすなど問題もあるため、きめ細かい整備をすべきと考えるがどうか。

答 必要に応じて簡易的な修繕や、全面的な改修を行うなど、計画的で、効果的な整備に努めたい。



きめ細かい整備により安全な運動場に



## 一日も早く市民が安心して出産・子育てできる環境を

民政会 八尋 伸二

### 一 産婦人科の状況について

問 八木病院(医療法人杏林会)の移転に際し、本市と協定を結んだ背景は何か。

答 本市が所有する市営住宅跡地(鈴張町)へ産婦人科開設を前提とした新築移転の申し出があり、30年の定期借地権を設定し、できるだけ早い時期の買取りと、新築移転に伴う産婦人科の開設・継続を契約条件に決定した。

### 二 小児医療費助成制度の拡充について

問 市内の年間分娩数は約400から500件少なくなる。本市はどう捉えているのか。

答 平成29年4月に八木病院が産婦人科を開設することで、市民が安心して市内で出産できる環境を整備できると考えるが、秦野赤十字病院の分娩再開についても引き続き協議を続けていきたい。



八木病院移転の計画がある市営住宅跡地



## 万が一に備え、災害から市民の安心・安全を守れ

自民・新政 今井 実

### 一 水害対策について

問 今回の関東・東北豪雨のような事態に対して、本市の想定・対応はどのようか。

答 災害が予測される早い段階での避難指示への切り替えとともに、避難基準の修正を考えている。また、洪水ハザードマップにとらわれることなく、早めの情報発信をしていきたい。

### 二 商業の現状と今後について

問 鶴巻地区の水害対策として行われている工事が、想定外の事態により一時停止したが、今後の整備への影響などはどのようか。

答 工期は6月から7月遅れる見込みである。また、今後行う工事については、リーダー探査や試掘調査など、事前準備を入念に行いたい。



中断した水害対策工事の影響は

## 会議録の検索・閲覧ができます

市議会では、ホームページで会議録検索システムを導入しています。本会議における一般質問、議案審議をはじめ、常任委員会や特別委員会の会議録を検索・閲覧することができます。議会だよりでは、紙面の都合上、一般質問や議案審議の要旨のみのお知らせとなりますが、会議録検索システムでは、発言の全てを検索・閲覧することができますので、ぜひご利用ください。(第3回定例会の会議録は12月中旬からご覧いただけます。)

会派の表記について

…「自民党・新政クラブ」は、略称として「自民・新政」と表記しています。

用語解説

※A-biz事業…熱海市チャレンジ応援センターのこと。コストをかけずに売上増加に向けて市と商工会議所が連携し、事業者と一緒に考え、知恵を出す個店支援事業。